

みつくら

令和 6年 2月15日 第404号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

8区自治公民館が伝承活動のみずき団子作り

正月の7日、8区自治公民館（菅原洋二館長）は大瀬川振興センターで23名が参加してみずき団子作りを行った。菅原正勝さんから自宅のみずきの木を提供してもらい、去年より少し高さを抑えて枝も細いため弛まない様に紐で引いて補強し飾りやすくするなど、役員が前日に準備した。当日は朝から大瀬川中央長寿会の応援を得て団子の下地作りをした。10時ごろには親子が加わり、思い思いに桃色・緑色・青色の団子を丸め、煎餅や5円玉や縄に巻き付けた銭餅と一緒に飾り記念撮影をした。子供達には自宅用も別に用意しそれぞれ持ち帰った。このみずき団子は27日に撤去したが例年よりも長い期間飾った。なお、この行事は現在8区だけとなっている。

9区自治公民館5年ぶりの新年交賀会開催

1月14日に9区自治公民館（菅原邦典館長）では、5年ぶりとなる新年交賀会が33名の参加で行われた。菅原館長からは「全く雪のない正月のなか5年ぶりの新年交賀会で役員も準備で戸惑いましたが、今日は楽しく親睦を深めて頂きたい」と挨拶があった。来賓の挨拶のあと、今年は大瀬川神楽保存会による「権現舞」が行われた。演舞途中で各テーブルを回り獅子頭で「歯打ち」がされ、参加者の無病息災を祈った。熊谷政男第一老人クラブ会長の乾杯で祝宴がスタート。本当に久しぶりの宴会とあって、折詰・オードブルのほか、汁物やスイーツがいっぱい並んだテーブルを前に、話に花が咲いた。菅原章博第9区農家組合長の中締めで新年の門出を祝った。〔権現舞〕：（あらゆる災いを退散、調伏させ、人々の安泰を祈祷する舞で権現とは、神の使いの聖獣の獅子としてではなく、神が仮の姿になって現れたことをいい、神の化身）

7区自主防災会で学習会

1月27日に7区自治公民館で、7区自主防災会（ 畠山

幸男会長）による学習会を9区自主防災会会長・副会長を含めた19名で行った。当日は、市防災危機管理課より借用した防災教育DVD（25分）を見た後に、畠山勝則さん・9区会長の畠山孝二さん・千鳥苑の福森直幸さんや畠山会長から感想・意見等を頂いた。近年の災害報道に触れるにつけ防災に関する知識はもとより、特に地域の力が必要であると改めて学ぶことができた。

たろし滝小特集

◎幟旗設置する
 1月14日に大瀬川構造改善センターでたろし滝測定保存会の第1回役員会が開催され18名が参加して、今年の行事日程や総会資料の検討が行われた。今年も現地での「ひつみつみ汁・甘酒」の振る舞いは行わず、130セットの配布をすることになった。そのほかに役員改選案や測定会後の日程を決めた。例年役員会と幟旗設置は別々の日だったが、今年は役員会終了後に幟旗約90本を組み付け、役員がそれぞれ地区を分担して設置し、たろし滝測定の季節を知らせた。
 ◎たろし滝測定保存会が総会
 1月28日に大瀬川振興センターで来賓も含め28名が出席し、大瀬川たろし滝測定委保存会の総会が行われた。熊谷幸夫会長は「来賓の皆様をはじめ、お忙しいところ出席いただきましてありがとうございます。今年の測定会は丁度50回目となり半世紀を迎えますが、ここまで続けられたのも、先輩の方々と会員皆様方の支えの賜と感謝しております」と挨拶した。総会では、議長に板垣正博さんが選出され、事業・決算報告で146名の会員から500円の会費、花巻観光協会からの助成金3万円、お賽銭が2万3千円などが報告された。また、現在顧問は板垣寛さん一人であるが、東京都立大学都市環境科学研究科地理環境学域の松山洋教授も加えてはどうかなどが話し合われた。
 ◎今までと違った道づくり
 測定会に向けて2月4日に役員や会員21名が参加して、たろし滝までの坂道を観覧者が歩き易いよう道づくりを行った。ところが、今年は少し雪はあるものの雪掻きが不要で、雪の嵩がない分、今までずっと利用していたロープの位置が高くなり、位置を低くしたり、新たに設置しなければならなかった。また、たろし滝の手前は雪がないため斜面を歩くことが出来ず沢沿いに登って、水溜まりの場所には石や倒木で足場を造った。特にたろし滝の周りは凍結しており、登れる場所は1カ所しかなかった。作業が終わって下がる時も対岸の山にも雪が無く、架設橋の下を流れる葛丸川の水量もかなり少なかった。あとは測定を待つだけだが、こんなに雪のない年は何年ぶりだろうか。みつくらの記事によると、「平成21年（2009年）も1月15日までは積雪が無かった」とあった。さて、今年の測定の結果は来月号に掲載予定。

「グリーンホームいしどりや」を廃止

大瀬川7・8区対象に「花巻農協石鳥谷支店冬期座談会」が2月2日に大瀬川振興センターで開催された。その席上で石鳥谷支店から従来と変わる3件の廃止や変更が報告された。大瀬川に住む私達にとって、関わりが大きいのでお知らせしたい。
 一つ目は、「グリーンホームいしどりや」の廃止である。「グリーンホームいしどりや」は、大瀬川の方々も多く利用した介護施設で運営は花巻農協。平成12年4月1日に花巻市石鳥谷町新堀第40地割3-1-1にデイサービスを主とした介護施設であるが、施設の老朽化と職員の雇用確保が難しくなり令和6年3月31日で総合事業を廃止し、令和6年5月31日に介護事業を廃止すると報告があった。令和6年2月の利用者数は、要支援が23人、要介護が69人の計92人という。職員は運転手6人を含め21人。
 二つ目は、八幡ガソリンスタンドを現在地から令和6年度中に石鳥谷町八幡2-55（木村商店所有地）に、八重畑ガソリンスタンドを併合して新設する。これも施設の老朽化で消防法に沿わなくなったためとのこと。
 三つ目は、石鳥谷支店の営業時間を昼の11時30分から12時30分まで業務を休むというもの。これは、既に町内の各銀行が先行しているので世情に沿ったものという。

中央長寿会が干支の年祝い

大瀬川中央長寿会（菅原得之会長、会員36名）では、1月29日に大瀬川振興センターで18名が出席して新年会と干支の年祝いを行った。辰年生まれの板垣忠雄さん、菅原洋二さん、菅原弘雄さん、板垣賢仁さんの4人には会から記念品が贈られ皆さんで祝った。コロナ禍をはさみ5年ぶりの開催とあって、参加者は久しぶりに近況を語り合うことができた。令和5年5月から施設の利用制限が解除されたが、自粛が続いたことで飲食を伴う会合はどこも様子見の状況であった。今回を皮切りに、少しずつ以前の状況を取り戻していくことになるかもしれない。

編集室の窓

この冬は雪が異常に少ないと皆さんが話しますので盛岡気象台の記録を調べたところ、盛岡気象台での降雪量合計は昭和28年（1953年）からデータが記載されていた。最も降雪量の多かったのが、昭和49年（1974年）の384cm。少ない年は昭和47年（1971年）の96cm。平成21年（2009年）でも180cmである。因みにこの冬は2月10日現在で54cmである。この数値からも、如何に今年が異常かが伺える。昔から「天気は貸し借りなし」と言う諺だと、春から秋までの季節の中に大雨が心配される。

（訂正）8区庚申講解散の記事で最後は大地渡電気が→谷地家が最後でした。なお、「庚申さま」は六盆家（畠山勝栄さん）が保管となった。

みつくら

令和 6年 2月15日 第404号
発行 大瀬川活性化会議
編集 「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”